

大規模小売店舗の 地域貢献活動事例集

平成25年3月
茨城県商工労働部中小企業課

目次

はじめに	1
I 大規模小売店舗の地域貢献活動事例	2
1 あみプレミアム・アウトレット	2
2 イーアスつくば	4
3 イオンタウン水戸南	6
4 イオンモール土浦	8
5 江戸崎ショッピングセンター パンプ	10
6 クレオ,クレオスクエア キュート	12
7 ショッピングセンター しんとねCOM1	14
8 ショッピングセンター チェリオ	16
9 ペルチ土浦	18
10 マイアミショッピングセンター	20
11 マイム・O O	22
12 水戸駅ビルエクセル, 水戸駅ビルエクセルみなみ	24
13 水戸京成百貨店	26
14 LALAガーデンつくば	28
II 県内特定大型店舗一覧	30

はじめに

大規模小売店舗（大型店）は、広域的な集客を図り消費者の多様なニーズを満たすなど、今や人々の日常生活に欠かせない施設となっています。

このため、消費者の日常生活のみならず環境面やまちづくり、地域経済への影響力もますます大きくなっており、大型店は、社会的責任の一環として、自主的・積極的な地域貢献に取り組むことが期待されています。

こうした状況を踏まえ、茨城県では、平成22年4月から「茨城県大規模小売店舗の地域貢献活動に関するガイドライン」を施行し、大型店に期待する地域貢献の取り組みや実施に当たっての手続き等を明示して、大型店と地域が連携した活力あるまちづくりや地域商業の活性化などの活動を促進しているところです。

多くの大型店がこのガイドラインの主旨に賛同され、地域貢献活動に取り組んでいただいているほか、床面積が1万平方メートルを超える店舗（特定大型店舗）については、地域貢献活動計画書や実施状況報告書の提出にご協力いただいています。

県では、提出された計画書等を県のホームページに掲載し、各店舗の地域貢献活動の内容を公表していますが、活動のより一層の普及・拡大を図るため、今般、特徴的・積極的な取り組みをまとめた事例集を作成する運びとなりました。

この事例集は、ガイドラインの普及・定着化を図る地域貢献活動定着員が各店舗における取り組みを取材し、地域貢献活動の方針や目標、地域住民に伝えたい思いなどを聞き取りして作成しました。本冊子を参考に、特定大型店舗を含む全ての大型店が、各地域・店舗に応じた地域貢献活動に取り組み、「元気で住みよいまちづくり」が広まる一助となれば幸甚です。

あみプレミアム・アウトレット

届出名称：あみプレミアム・アウトレット
所在地：稲敷郡阿見町大字吉原2700
設置者：三菱地所・サイモン(株)
核テナント：アディダス・ジャパン(株) 他

■地域貢献活動の方針

他都県など広域からの来場者が多い当施設は、その特色を生かして県や地域の名勝、特産品、名産品の紹介、販売イベント開催や、地域他施設とのタイアップ相互送客キャンペーンの実施に注力することで、県や地域の情報発信基地になっていると自負している。このことが地域貢献や地域経済の振興へつながることはもちろんのこと、ひいては、当施設の特色や強みとなり、集客力の強化にもつながるものと信じている。

■地域貢献活動の取り組み

○まい・あみ・マルシェ～茨城ファーム～

地元である阿見町や茨城県の新たな魅力を見つけてもらおうと屋外



の広場で年2回程度開催していた地元農産物・特産物の販売イベント「まい・あみ・マルシェ」を、地元産農産物をはじめ町内外の加工食品・物産品などを販売するアンテナショップに拡充し、当店舗テ

ナント棟内に開設した。平成24年4月6日から7月16日まで期間限定で、阿見町商工観光課／あみ観光協会がテナントとして出店し、町内3直売所を設立母体とする出荷組合がショップを運営した。

当初はアウトレット来店客が地元産の野菜や加工食品を購入するか不安視されたが、目標を上回る販売額を達成し、マルシェを目的に開店と同時に入店する来客も見られるなど、好評を博した。

地元にとっては町や県についての広域的なPRの場になるとともに、店舗としても来客ニーズ把握の参考となった。今まで意識しなかった地元農産物などが他



方では価値あるものであることに気づかされ、双方にとって地域を見直す良い機会となった。

○県内観光施設とのタイアップ

東日本大震災による風評被害で観光客が減少し観光施設が打撃を受けたことから当店舗が県内各施設に働きかけた、県内施設相互利用キャンペーンを実施した。

県内施設が特典を付け合い、来客に施設間を行き来してもらう企画内容だったため、当店舗では館内に県内施設の優待入りチラシを設置した。また、優待対象とした観光施設に当店舗のキャンペーンチラシを置き、そのチラシを持参して来店した場合にはクーポンシートやオリジナルのノベルティグッズをプレゼントした。

商業施設と観光施設の連携によって、PR力が強まるとともに集客力も向上し、風評被害払拭や震災復興の一助となった。

■地域のみなさまへのメッセージ

観光地型商業施設として地域と一体となってお客さまを誘致したいと考えております。ゆったりとしたショッピング空間のもと、ブランド品はもちろん、真に価値ある商品をお求めやすい価格で提供し続けてまいります。

イーアス

i i a s つくば

届出名称：i i a s つくば

所在地：つくば市研究学園C50街区1

設置者：大和ハウス工業(株)

核テナント：フードスクエアカスミ，Movix つくば，ゼビオ，
アカデミア，トイザラス・ベビーザラス，ナムコランド

■地域貢献活動の方針

当施設では、地域のみなさまによる情報発信や啓発活動、そして、集い交流いただける場として、場の提供、機会づくりを行っている。

地元商店との連携フェア、生涯学習・教育、各種展示、啓発活動など親子3世代に有意義な内容を届けている。

また、人と環境にやさしいショッピングセンターの視察・見学を、約1時間コースで受け入れている。

■地域貢献活動の取り組み

○「つくばピンクリボンフェスティバル」への参画

NPO法人つくばピンクリボンの会に参加し「つくばピンクリボンフェスティバル」を共催している。

ピンクリボン活動写真展、ピンクリボンウォークのゴール場所の提供、ピンクリボンライブ開催、乳がん予防の市民講座開講、がん早期発見情報コーナーの設置など企画から協力している。店舗従業員は、



手づくりのピンクリボンバッジを胸につけて接客業務にあたり、施設が一体となってピンクリボン活動を応援している。

○「おしごと体験隊」の開催

地域で活躍するさまざまな職業の一日体験を通じて、子供たちがプロの技に実際に触れ、仕事の面白さを実感する夏休みイベントを開催している。

体験する職業はフリーペーパー



の記者や消防士、警察官、トリマー、自動車整備士などで、地元つくば市の企業や行政機関、各種専門学校から講師協力を得ている。子どもたちは、仕事の内容や魅力について講師から講義を受けた後、実技体験（記者体験の店舗内取材や撮影、消防士体験のロープの結び方や人工呼吸の方法）をし、体験終了後に修了証を授与される。子どもたちのチャレンジ精神や仕事に対する興味・意欲を高める取り組みとなっている。

■地域のみなさまへのメッセージ

茨城県内外の各機関、団体様へ、場の提供（イベントスペース、通路スペース、イーアスホール）を行っています。啓発活動や情報発信の場として、集い交流の場として、各種催事に当施設をどうぞご利用ください。

イオンタウン水戸南

届出名称：イオンタウン水戸南

所在地：東茨城郡茨城町長岡3480番地 外

設置者：イオンタウン（株）

核テナント：（株）カスミ

■地域貢献活動の方針

地域貢献活動として、ひぬま流域クリーン作戦への参加、店舗周辺の清掃活動、茨城町主催イベントへの協賛を行っている。また、地域住民及び学校の発表の場として場所の提供を積極的に行っていく。県、町、警察などの啓発活動も積極的に受け入れ開催している。毎年行う「いばきやら祭り」では、各地域の観光・物産・名産のPRの場として考えている。

■地域貢献活動の取り組み

○木曜市の開催

茨城町生活改善クラブから「地元農産物の販売場所を提供してほしい」との提案を受け、店舗のセンターコートが無償提供し、平成22年6月から毎週木曜日に地元農産物の販売会を開催している。地元の



採れたて野菜のほか、赤飯などの加工食品も扱っており、今では、開店と同時にたくさんのリピーターが訪れ、午後には完売してしまうほどの人気である。茨城町生活改善クラブに

は販売機会を提供し、来店客には新鮮・安心な地元産品を提供する、地産地消推進の取組として定着している。

○ひぬま流域クリーン作戦への参加

地域住民・団体・行政・企業等が連携し、涸沼の水質浄化に向けて取り組んでいる「クリーンアップひぬまネットワーク」に加盟している。毎年夏には、この団体が主催する清掃活動「ひぬま流域クリーン作戦」に参加し、店舗開店前に最大30名の従業員が涸沼周辺のごみ回収や、参加者への飲み物無料配布を行うなど、地域の環境保全・美化活動に協力している。



■地域のみなさまへのメッセージ

地域のみなさまからご支持いただけるよう、安心・安全を第一に考え、楽しくお買い物ができるような施設づくりを行ってまいります。また、地域のみなさまの発表の場としての施設提供も積極的に行ってまいります。

イオンモール土浦

届出名称：イオンモール土浦

所在地：土浦市上高津367番地 外

設置者：イオンリテール(株)

核テナント：イオンリテール(株)

■地域貢献活動の方針

地域の暮らしに根ざし、地域社会に貢献し続けることを基本理念とし日々の営業活動を展開している。地域のみなさまの活動の協力や、学校・幼稚園などの発表会の場所の提供などを実施しており、地域のみなさまに感謝され評価されている。

今後も、多くの地域のみなさまに貢献できる店舗運営を進めていく。

■地域貢献活動の取り組み

○特別支援学校・老人ホームの受け入れ

車イスに対応し、おむつ交換などでもできる多目的トイレの設置や、30台以上の無料貸し出し車イスを常備するなど、高齢者や障害のある方々が快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮した施設・設備を充実させている。

また、県内の特別支援学校の児童・生徒や老人ホームの入所者などを対象とした店舗施設の利用案内を作成し、校外学習や食事会などを積極的に受け入れている。受け入れにあたっては、店舗出入口近くの



身障者用駐車スペースの確保や、警備員による入退店の誘導など、安全面については十分に配慮している。さらに、映画館も併設しているため、希望に応じて映画鑑賞の手配も行

っている。

昨年は、年間の受け入れ件数は34件を超え、延べ889名の方々に利用された。こうした利用者が再び来店し、買い物や食事を楽しむ姿も多く見られ、誰もが利用しやすい施設として地域に浸透してきている。

○土浦名所旧跡案内ボード設置・パンフレット配布

店舗内のフリースペースに土浦市内の名所旧跡の案内図を示したボードの設置とともに、市の観光案内パンフレットや冊子を配置して、来店客に地域のPRをしている。



■地域のみなさまへのメッセージ

当店は、環境に配慮した技術や仕組みを採用した「エコストア」です。今後も環境に配慮し、地域のみなさまにより多く貢献できるような店舗づくりを進めていきます。

江戸崎ショッピングセンターパンプ

届出名称：江戸崎ショッピングセンター
所在地：稲敷市江戸崎甲4836番地
設置者：(協組)江戸崎ショッピングセンター
核テナント：(株)エコス

■地域貢献活動の方針

当店舗は、稲敷市の中心地旧江戸崎町の中心に立地しており、地元地域とのつながりを大事にしている。市役所・消防・警察・学校などとの連携を密にし、地域コミュニティーの拠点としての役割を果たせるショッピングセンターづくりをすすめていく。

■地域貢献活動の取り組み

○毎月15日全館子育て支援日

当店舗では、県の子育て家庭優遇制度「いばらき kids club」に、平成19年10月の制度開始から協賛している。毎月15日を「パンプ kids club の日」として優待日に設定し、テナントごとに料金割引やサービスチケット・粗品の進呈など、さまざまなサービスを行っている。



店舗内のテナント店頭やレジ回りなどに「いばらき kids club」のポスターを掲示し、併せてホームページにもサービス情報を掲載して、全館あげて子ども連れの外出を応援している。

○地元特産物販売などへの協力

当店舗では、地元特産品・名産品の販売会への会場提供などを積極的に行っている。

稲敷市観光協会が主催した「稲敷市物産展～がんばっぺ稲敷市～」

においては、会場やワゴンなどの備品、電気や水道などを無償提供した。物産展には地元のJAや農業生産団体など12店舗が出店し、いちごやレンコンなどの農産物やその加工食品などが販売さ



れた。併せてステージイベントも行われ、江戸崎音頭など地元芸能が披露され会場を盛り上げた。

地元や県内各地の商店を集めてそれぞれの店や商品のPR・販売をした「ショッピングセンター・地域商店の連携フェア」でも、会場提供の面で協力した。フェアには県特産品を扱う事業者など27店舗が出店し、3,000人余りが来店した。同時期に地元商店街がひな飾りやつるしびなを飾ってひな祭りイベントを実施したのに合わせ、当店舗でもセンターコートに大きなひな飾りを設置し商店街への回遊を図るとともに、フェアの雰囲気盛り上げた。

今後も、当店舗から地元特産品を生産・販売する商店や団体に対し呼びかけて、販売・PRの機会を定期的に設け、地域産業の育成につなげたいと考えている。

■地域のみなさまへのメッセージ

平成7年のオープン以来、地域のお客さまが安心して気軽に立ち寄れるショッピングセンターを目標に努めてまいりました。今後も地域のお客さまの声を大切にしながら、さらに地域貢献できるショッピングセンターを心掛けてまいります。

クレオ，つくばクレオスクエア キュート

届出名称：クレオ，つくばクレオスクエア キュート

所在地：つくば市吾妻一丁目 7-1, つくば市吾妻一丁目 6-1 外

設置者：筑波都市整備(株)

■地域貢献活動の方針

地域で生活する人々がより豊かで幸せな生活を営んでいただくためのお手伝いや，魅力ある街づくりの一環として施設を運営している。これからも多様で快適な生活スタイルを実現いただけるよう，地域のみなさまや地元企業，公共団体などと共存共栄しながら，イベントや環境整備活動など年間を通じてさまざまな活動を支援し，地域の活性化や賑わいの創出などに取り組んでいきたい。

■地域貢献活動の取り組み

○各学校課外学習・職場体験受け入れ

小・中学校，特別支援学校などつくば市内を中心に県内の各学校から課外学習や職場体験の依頼があり，これを地域貢献の一環として受け入れている。



特別支援学校の場合は生徒たち自身が実際に施設での買い物や食事を体験することによって社会性を身につける一助となること，また小・中学校の場合は店舗の見学や簡単な仕事の手伝いを通して働く

ことの意義や喜び，苦労や努力することを学び，社会に役立とうとする意欲の育成につながることを，受け入れの目的と捉えている。

いずれの場合も，関わる店舗や学校と事前の打ち合わせを重ねて，当日はスムーズな受け入れができるよう調整を図っている。その結果，複数の学校が継続して課外学習や職場体験に訪れ，生徒などから感謝

の言葉を多くもらっているという。今後も、地域に少しでも貢献できるようにできる限り協力していきたいとしている。

○地元の農産物生産者と連携した即売会の協力

つくばで生活していても地元の農産物についてあまり知らない住民が多いことから、より多くの方々に知ってもらうため、当施設は地元の生産者に即売会開催の呼びかけを行った。東日本大震災以降は、風評被害にあった地元農産物に対して「食の安全」や「おいしさ」を直接、お客さまにアピールする機会にもなっている。

参加団体は近隣のJAや農業生産団体、つくば市内の個人生産者などさまざまで、販売する商品も、かすみがうら市千代田地区からは梨やぶどう、鹿行地区ではメロン・トマト・さつまいも、つくば市内からはいちご・レンコン・きゅうり・米が出品されるなど、多様に取りそろえている。

参加団体からは販売の機会が増えた、直接消費者の意見が聞けて今後の励みになったとの声が多く挙げられていることから、今後も地域貢献の一環として続けていきたいとしている。



■地域のみなさまへのメッセージ

当施設は「つくばセンター地区」の中心地にあり、つくばエクスプレスの「つくば駅」に直結した複合商業施設として地域のみなさまのニーズに応えながら、いつも訪れた方が楽しく過ごせる魅力的な空間創出に努めてまいります。

ショッピングセンター しんとねCOM1

届出名称：ショッピングセンターしんとねCOM1

所在地：稲敷市角崎南下町1678

設置者：新利根商業開発(株)

核テナント：(株)ランドロームジャパン

■地域貢献活動の方針

地域に親しまれる店舗づくりを目指して日々の営業活動を展開。地域住民のニーズにあった商品提供や、地元からの積極的な雇用を図り地域貢献を行っている。今後も一層の企業努力を行い、より多くのお客さまに信頼され、かつ地域に貢献できるよう店舗づくりを進めていきたい。

■地域貢献活動の取り組み

○稲敷市物産展

震災復興を目指して稲敷市観光協会が主催したイベント「稲敷市物



産展～がんばっぺ稲敷市～」の開催会場として、店舗の一角やテーブルや音響設備などの備品を無償提供した。震災以降地元を元気にさせようというイベント開催目的に当店舗が

共感したものである。

イベント当日は、地元から9団体が出店して、佃煮や蕎麦、ブルーベリーなどの特産品を販売し、地元物産品をPRした。会場にはステージが設けられ、当店舗が提案した地元の太鼓やお囃子、踊りなどの発表が行われ、来場客の目を楽しませるとともに会場を盛り上げた。そのほか、抽選会や先着での特産品プレゼントなども行われた。集客

力のある大型店が開催会場となったことが物産展への集客につながり、地域産業の活性化や復興・復旧への貢献となった。



○人権啓発活動について

地元稲敷市が行う人権啓発活動に賛同し、10年以上前から毎年、稲敷市人権推進室主催による人権週間の啓発イベントに店舗内会場や駐車場を無償提供している。市の人権擁護委員や職員、介護士による啓蒙啓発用品の配布などが行われ、来店客に広く人権啓発活動のPRを行い、地域と連携したまちづくりの推進に寄与した。

■地域のみなさまへのメッセージ

平成4年のオープン以来、地域とともに歩んできた店舗であると実感しています。

今後もお客さまのあらゆるニーズに応え、大型店としての地域貢献活動や店づくりに努めてまいります。